

## (案)

2026年(令和8年)2月 日

明石市長 丸谷 聡子 様

明石市環境審議会  
会長 花田 真理子

### 生物多様性あかし戦略の改定について(答申)

2023年(令和5年)10月30日付け明環創第31号で諮問がありました生物多様性あかし戦略の改定について審議を重ねた結果、下記のとおりとりまとめましたので、答申いたします。

#### 記

##### 1 答申にあたって

令和5年10月30日の諮問を受け、当審議会の自然環境部会では3回にわたり協議を行い、市民と共に取り組む視点を重視し、実効性のある内容となるよう専門的見地から慎重に議論いたしました。

また、生物多様性あかし戦略推進会議やパブリックコメントでいただいた意見も計画案に反映しております。

2050年に向けた「あかしの環境将来像」の実現のためには、市民、事業者、教育機関、行政がそれぞれの活動分野で取り組みを推進し、つながりを深め、共創のもとに自発的な行動変容を促す必要があります。

このことは、令和8年1月18日に明石市が宣言した「水とみどりでつながる あかしネイチャーポジティブ」の方針と合致し、市が先導的にネイチャーポジティブの理念を広め、普及・推進の主体となり行動を起こしていく必要があります。

##### 2 生物多様性あかし戦略の改定における基本的な考え方

###### (1) 持続可能な環境将来像の実現

2050年の環境将来像を目標に、長期的視点で計画的に生物多様性の保全・回復を推進すること。

###### (2) ネイチャーポジティブの理念の普及・促進

明石市のネイチャーポジティブ宣言の考えを広く市民や事業者への啓発を行い、自然との共生を目指した行動変容に繋げること。

###### (3) 実効性のある取り組みの推進

具体的かつ実践的な戦略として、地域環境保全・回復に繋がる取り組みを推進すること。

###### (4) 市民参加と共創の推進

市民、事業者、教育機関、行政がそれぞれの役割と得意分野を活かし、連携・共創して生物多様性の保全・回復に取り組むこと。

(5) 多様な意見の反映

生物多様性あかし戦略推進会議や、市民・事業者・専門家などの多様な意見を反映すること。

(6) 生活・事業活動と環境負荷の低減の両立

環境に配慮したライフスタイルや事業活動へのシフトを支援し、地域経済・社会活動と環境負荷の低減の両立に繋げること。

3 最後に

生物多様性あかし戦略は、市の環境施策の重要な柱であり、今後の継続的な推進と取り組みが不可欠です。

当審議会は、本答申の内容を踏まえ、戦略が確実に実践されることを期待し、本戦略が明石市の未来における豊かな自然環境の保全・創出に寄与することを願っております。

4 生物多様性あかし戦略について

別紙「生物多様性あかし戦略（案）」のとおり